

2014年8月4日（月）
うるま市立中原小学校
高学年(小5・6)コース
沖縄県造形教育連盟

彫り進み多色木版画で表そう

準備 下絵 画用紙 鉛筆 絵の具（色鉛筆） 環境 水場 乾燥棚 エプロン 体育着
転写 版木 トレーシングペーパー セロハンテープ 彫り 彫刻刀（彫り台）
刷り 刷紙 ローラー トレイ 水性インク各色 ばれん 新聞紙 洗剤 たわし 雑巾
片付け 彫刻刀と版木 彫り場（係班） 塗り場（係班） 刷り場（係班） 洗い場（係班）

活動内容（工程）	指導上の留意点																				
<p>1 下絵</p> <p>①主題を構想し下絵を鉛筆で描く。</p> <p>②下絵に彩色を行う。使う色3色で色をぬる。</p> <p>※使用する色の組み合わせ例</p> <table border="1" data-bbox="225 1122 788 1301"> <tr> <td>○刷紙の色</td> <td colspan="4">白（全員）</td> </tr> <tr> <td>①高明度色</td> <td>黄</td> <td>桃</td> <td>水</td> <td>赤</td> </tr> <tr> <td>②好きな色</td> <td>赤</td> <td>青</td> <td>赤</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>③低明度色</td> <td>茶</td> <td>黒</td> <td>茶</td> <td>黒</td> </tr> </table>	○刷紙の色	白（全員）				①高明度色	黄	桃	水	赤	②好きな色	赤	青	赤	青	③低明度色	茶	黒	茶	黒	<p>→児童の主題設定について指導しておく。</p> <p>→あまり複雑にならないように注意する。</p> <p>→制作時間を考慮し、使用する色を3色程に限定して彩色をさせる。刷紙の白を加えれば仕上がりは4色となる。</p> <p>→彩絵は絵の具や色鉛筆で行う。</p> <p>※中間色（緑、紫、橙など）は重色によって表現される。予め、インクの透過性を確かめてくとよい。色指定でも可。</p>
○刷紙の色	白（全員）																				
①高明度色	黄	桃	水	赤																	
②好きな色	赤	青	赤	青																	
③低明度色	茶	黒	茶	黒																	
<p>2 転写</p> <p>①下絵の上にトレーシングペーパーを置く。</p> <p>②輪郭線を鉛筆でなぞる</p> <p>③版木の上に描いたトレーシングペーパーを裏返しにしてあてる。</p> <p>④版木の長辺部分とトレーシングペーパーをセロハンテープで2カ所とめる。</p> <p>⑤カーボン紙を版木とトレーシングペーパーの間にはさむ。</p> <p>⑥線をなぞり、転写する。</p> <p>⑦油性ペンでもう一度なぞる。</p>	<p>※トレーシングペーパーの使い方、カーボン紙の使い方を指導しておく</p> <p>→必ず裏返しにさせること。</p> <p>→2カ所で十分。</p> <p>→カーボン面が版木側。逆にはさむ児童がいないか点検する。カーボン紙はセロハンテープではとめないでよい。</p> <p>→時々、転写されているかどうか確かめながら作業をさせる。</p> <p>→版の洗い流しがあるので、油性ペンでしっかりと描かせる。</p>																				

<p>3 彫り</p> <p>①白くしたいところを彫る。 ※この後、刷りを終えたら、残したい色の部分を彫り進みます。</p> <p>②木くずはきれいに取る。</p>	<p>■彫り場（自分の机）</p> <p>→彫刻刀の扱いに注意する。 ※両手を彫刻刀に添えるなど</p> <p>→彫りの作業は自分の机でやる。</p> <p>→彫刻刀の彫りあとを生かすよう指導する。</p>
<p>4 塗り</p> <p>①1回目の色（黄など）をトレイに出し、ローラーで練る。</p> <p>②台の上に、版木をのせ、版木にぬる。</p> <p>③刷り場に持っていく。</p>	<p>■塗り場（教室側面）</p> <p>→インクはローラーをトレイで転がしてしっかりと練る。インクの量を指示しておく。</p> <p>→新聞紙の上に、同じ大きさの版木を5枚ほど重ねておくと塗りやすい。</p> <p>→移動の時、友だちにインクをつけないように気をつけさせる。</p>
<p>5 刷り</p> <p>①新聞紙の上に刷り紙を置く。</p> <p>②刷り紙に版木を裏返して（インク面下）のせる。</p> <p>③バレンで刷る。</p> <p>④刷紙を乾燥スペースに運び、塗りを行う。</p> <p>⑤塗り、刷りを3回終えたら版木を洗い場に運ぶ。</p>	<p>■刷り場（教室背面）</p> <p>→一旦、版木を置くスペースも必要。</p> <p>→裏返すとき、板を軽く持ち上げ、着いてきた紙の下に手を入れひっくり返す。</p> <p>→しっかりとこする。</p> <p>→3枚刷らせる。乾燥スペースの指定。</p> <p>※2回目からは、版木を刷紙の画面に慎重に合わせて、刷る。（見当は使わない）</p>
<p>6 洗い</p> <p>①刷りが終わったら、一色毎に洗い流す。</p> <p>②雑巾できれいに拭き、彫り場に移動する。</p>	<p>■洗い場</p> <p>→たわしに洗剤をつけて、洗う。 （スカッチブライトなども可）</p> <p>※たわしはインクがはねるので注意する。</p> <p>→裏表をしっかりと拭かせる。</p>
<p>7 （繰り返し）</p> <p>3 彫り→4 塗り→5 刷り→6 洗いを3回繰り返す。</p>	<p>→教師は彫り場（各机）を中心に個別指導をする。</p> <p>※どこを彫ればよいか。どのように彫ればよいか。彫刻刀は安全に使っているか。</p>
<p>8 完成</p> <p>① 完成作品に番号・題、名前を記入する。 ※番号の付け方 1 / 3 （3枚刷った1枚目）</p>	<p>→一人3枚完成する。</p> <p>→作品下辺左に番号、中央に題名、右に氏名を鉛筆で丁寧に記入させる。</p>